

作成日： 令和 7 年 4 月 1 日

令和 7 年度 工賃向上計画書（通期）

事業所（施設）名	おおぐち工房Ⅱ				事業種別	就労継続支援B型		
平均工賃の推移	前々年度（令和 5 年度）実績				前年度（令和 6 年度）実績			
	期	上半期	下半期	通期	期	上半期	下半期	通期
	月額	11,841	18,989	15,347	月額	16,202	20,786	18,509
	時間額	119	198	159	時間額	165	215	190
平均工賃の目標	今年度（令和 7 年度）目標				令和 7 年度以降の目標			
	期	上半期	下半期	通期	期	R 8 年	R 9 年	R 10 年
	月額	16, 845	21, 801	19, 401	月額	19,700	20, 200	20, 700
	時間額	167	222	195	時間額	200	205	210
前々年度と比較した 前年度の工賃支給状況	支払総額		（ ○ ） 増加傾向		（ ） 横ばい傾向		（ ） 減少傾向	
	延べ工賃支払対象者数		（ ○ ） 増加傾向		（ ） 横ばい傾向		（ ） 減少傾向	
	延べ勤務時間数		（ ） 増加傾向		（ ） 横ばい傾向		（ ） 減少傾向	
	平均	月額	（ ○ ） 増加傾向		（ ） 横ばい傾向		（ ） 減少傾向	
	工賃	時間額	（ ○ ） 増加傾向		（ ） 横ばい傾向		（ ） 減少傾向	
前年度の作業種目及び収入実績	作業種目		前年度収入額	割合	傾向			
	受託加工		542 千円	4 %	横ばい			
	自主製造・販売		7, 713 千円	58 %	増加傾向			
	仕入・販売		千円	%				
	飲食		4, 619 千円	35 %	増加傾向			
	サービス		千円	%				
	役務（清掃等）		392 千円	3 %	横ばい			
	他（ 自主製品 ）		6 千円	%	横ばい			
	合計		13, 272 千円	%				
前年度に工賃向上に 効果を上げた具体 な 事項	原材料が高騰したため商品が残らないよう販売数を管理した。外部販売の売り上げを把握し商品を提供した。内職作業が無くならないよう調整した。							
工賃向上のためにク リアーしなければな らない課題事項 （複数回答可）	（ ） 販売品に魅力がない （ ○ ） 販売先が限られている （ ） 受注単価が安い （ ） 他事業所とのネットワークがない （ ） 職員の作業負荷増大 （ ） 職員のコンセンサス （ ） その他（ ） （ ） 販売品種が少ない （ ） 立地条件が悪い （ ○ ） 多量の注文が受けられない （ ○ ） 利用者の作業負荷増大 （ ） 利用者特性							
工賃向上のために優 先的にクリアーしな ければならない課題 の具体的な内容と対 応策	原材料高騰に対する価格設定。 魅力的な商品作成。 新メニューの開発							
今年度計画している 改善（複数回答可）	（ ○ ） 品質の向上 （ ○ ） 他事業所とのネットワーク化 （ ） 作業種目の見直し （ ） 神奈川県工賃向上支援事業への積極的な参加 （ ） その他（ ） （ ） 販路開拓 （ ） 内部努力 （ ） 職員の意識啓発							
今年度計画している 改善策の具体的な内 容	魅力的なメニューの開発 販路拡大							